

地方の呼び名で市場に入荷することがあります

# アカメフグとヒガンフグ の混同にご注意を！

有毒部位が  
異なります

ヒガンフグをアカメフグ、アカメ、メアカなどと呼んだり、逆にアカメフグをヒガンフグと呼ぶ地域もあります。眼球の白目が赤いことから混同されることがあるため、**必ず標準和名で販売しましょう。**

## アカメフグ

全長25cmの小型種

### 特徴

体の背面と側面は桃色または赤褐色の地色に小斑点が散在する。各鰭も赤褐色である。背面と腹面に小棘(とげ)はなく、平滑である。



## ヒガンフグ

全長35cmになる中型種

### 特徴

体の背面、側面は赤味をおびた褐色で、黒褐色の小斑点が多く散在する。腹面は白い。皮にいぼ状の小さな突起が密に広がる。背面と腹面に小棘(とげ)はない。



○がついている部位のみ食べることができます

種名／部位	筋肉	皮	精巢
アカメフグ	○	×	○
ヒガンフグ	○	×	×

精巣等の有毒部位を食べることにより毎年死亡事例を含む食中毒が発生しています。

※注意：岩手県越喜来湾および釜石湾ならびに宮城県雄勝湾で漁獲されるヒガンフグについては食用不可。

出典：厚生労働省「自然毒のリスクプロファイル：魚類：フグ毒」

発行：横浜市健康福祉局 中央卸売市場 本場食品衛生検査所  
TEL 045-441-1153 FAX 045-441-8009 平成29年2月